

修学旅行

9月25日～27日、5・6年生合同で修学旅行に行きました！



25日(水) 修学旅行1日目

①最初の見学地は、「法隆寺」。境内に入り、五重塔と金堂をバックに記念写真。中に入って、五重塔や金堂、講堂、大宝蔵院（夢違観音、玉虫厨子や八頭身の百済観音が美しい）など見学をしました。日本の歴史を感じた法隆寺でした。



②次は、「東大寺」です。いよいよ楽しみにしていた大仏様とご対面です。その大きさにびっくり！（「百聞は一見に如かず」やはり、実物を見ないとわかりません。）柱の鼻の穴くぐり・・・この鼻の穴をくぐると、賢くなれるとか・・・「目から鼻に抜ける〔優れて賢い〕」と



いうことわざは、この大仏からできた言葉だそうです。

大仏を見たあとは、鹿せんべいタイムです。せんべい目あてに猛烈に寄ってくる鹿に「あげた」というか、「投げ渡した」「奪われた」感じでした。でも、とっても楽しい時間でした。

③京都に移動して…今日の宿「たきがわ旅館」に着きました。食事を早めに取り、京都駅に行きました。長い階段を利用したイルミネーションや展望階からの京都の夜景を楽しみました。



宿に帰り、お風呂に入って反省会。「あいさつや返事をする」「きちんと並ぶ」の2つが反省点



「怪談話」や「恋話」で盛り上がったらしい6年生女子いきなり4段ピラミッドを完成させた5年生女子。ゲーム話で楽しそうな男子部屋。

こうして、修学旅行1日目の夜は過ぎていきました。



26日(木) 修学旅行記2日目



①2日目最初の見学地は「清水寺」です。清水の舞台は改修中でしたが、その高さは実感できました。

そして、「音羽の滝」・「健康、賢さ、美しさ」の3つの水も飲みました。いつ、効果が現れるか楽しみです！



次に、清水焼きの絵付け体験をしました。筆で絵を描くのはなかなか難しいので、集中集中！

②次の見学地は「二条城」。15代將軍徳川慶喜による大政奉還が行われた部屋の前に来て、歴史の1コマを感じました。「この廊下も徳川さんが歩いたんかね～」と話しながら、歩く足下からは廊下を歩くとたびに「キュッ、キュッ」という音がします。ウグイス張りの床の音の出る仕組みも昔の人の知恵です。子ども達もその仕組みにすごく感心していました。



京都には、外国の観光客もたくさんおられます。外国語の時間に練習したインタビューをここで実践しました。ドキドキでしたが、外国の方々はとってもフレンドリーに接してくださいました。

③次は、「金閣寺」。本当にきらきらしていました。多くの観光客を割って入らせてもらい、金閣寺をバックに写真も撮れました。



④京都から大阪へ。大阪の最初の見学地は「大阪城」です。畳36枚分の大きな城の石（たこ石）と天守閣をバックに写真撮影。それから8階の天守閣へ階段で一気に登ります。さすがに天守閣からのながめはよく、大阪の街が一望できました。班で豊臣秀吉の一生や大阪城のつくりなど見学をしながら、天下統一を果たした秀吉について学習しました。



⑤2日目最後は「海遊館」です。海遊館のお目当ては、なんといってもジンベイザメです。目の前をゆっくり泳ぐジンベイザメ、イルカやアシカ、ラッコなどのかわいいしぐさや間近に見るさまざまな海の生き物の姿に歓声をあげながら見学していました。



⑥2日目の宿は、伏尾温泉「不死王閣」。8階建てのホテル、食べきれないほどの食事、露天風呂もある広い大浴場。大満足の子どもたちでした。

反省会をして、昨日の反省点の「あいさつ・返事」「きちんと並ぶ」ことができたと報告しあい、就寝。さすがに、2日目の夜は早めに電気も消えていました。



27日(金) 修学旅行3日目

いよいよ、最終日。6時半起床。宿から30分あまりで、「キッザニア甲子園」に到着。ここからは、子ども達は、スタッフの方の言われるとおりに準備して、あとはそれぞれ考えていた仕事にチャレンジします。友達と相談しながら、また、自分一人で、やってみたいことにチャレンジしました。



科学研究所



自動車整備



ソーセージ作り



ソフトクリーム作り



証券会社



馬の世話



警備会社



冷凍食品作り

などなど、たくさんの仕事体験をしました。この仕事体験を通して、仕事をする上で大切なことは、まず「あいさつ」ということを学びました。お客さんに対しても同僚に対しても初めは「あいさつ」から始まります。これからの学校生活にも生かしてほしいと思いました。

修学旅行のしおりにかいてあった「ねらい」を見てみます。

- いろいろな見学，体験を通して，近畿地方の産業や文化，歴史について学習する。
- 見学や集団での活動を通して，自分達で考え，学び，行動する。
- みんなで協力して，楽しい集団生活を行なう。

この3つはしっかり果たすことができました。何よりみんな元気で行って帰られたことが一番です。これから、「修学旅行記」や「アルバム」に思い出を綴っていきます。